

# Peshawar-kai

# ペシャワール会報

ペシャワール会事務局  
〒810-0023 福岡市中央区警固  
2-1-17 ハイツみかげ803号  
TEL 092 (731) 2372  
FAX 092 (731) 2373

No.134

2017年12月5日

〈URL〉 <http://www1a.biglobe.ne.jp/peshawar/>

〈E-mail〉 [peshawar@kkh.biglobe.ne.jp](mailto:peshawar@kkh.biglobe.ne.jp)



表紙絵 冬到来／画・甲斐大策

異常少雨の中、マルワリード用水路、実質完工

中村 哲

効果的で素晴らしい研修プログラムに感謝

ジア ウル ラフマン

PMSがなかったら麻薬の栽培をしていたらろう

アブドル サマード

考えたこともなかった効果的な学習でした

アジュマル スタニクザイ

日々の仕事をこなしつつ初心を忘れぬように

梶井孝文

●カラー特集 マルワリードII流域への一斉灌漑を目指して

ペシャワール会は、1983年9月、中村哲医師のパキスタンでの医療活動を支援する目的で結成されました。彼の活動を支援するとともに、アジアの人々への理解を深めていきたいと願っています。

# 異常少雨の中、マルワリード用水路、実質完工

## 着工から十五年、喜びと共に衷心から感謝

PMS(平和医療団日本)総院長／ベシャワール会現地代表

中村 哲

### 異常少雨と河川水減少

みなさん、お元気でしょうか。相も変わらず川辺の工事で、冬は冷えます。

今アフガン東部は、異例の水不足に悩まされています。昨年に続いて、今年も極端な少雨で、降雪もわずかでした。十一月中旬になってモンスーンの第一陣が到来し、やっと小雨が見られるようになりましたが、何と四月からこのかた、わずか数日の降雨でした。

このため、天水に頼る農地はことごとく壊滅、ジャララバードでは、パキスタンからの強制送還難民約一〇〇万人に加え、主にクナール州やナンガラハル州東部から逃れてくる避難民が増加、市内は見たこともない混雑となっています。

有数の大河であるクナール河でも、異常

低水位が各所で記録されました。九月下旬には既に厳冬期なみの低水位となり、川沿いの村々は取水ができず、荒れ地が急速に広がりました。カブール河本川では、これまで唯一豊富な水量を保っていたパンジシエール川が干上がり、関係者に衝撃を与えました。

PMSでは全作業地の取水堰九カ所を点検し、緊急態勢をとっています。そもそも、このような事態に備えてこそその取水堰なので、その働きが試される絶好の機会と見えています。今のところ十分な送水量を確保し、作業地全域で濁水は起きていません。

戦火は主にジャララバード北部のクナール州、スピンガル山脈東部方面で広がり、干ばつに追い打ちをかけています。治安は日々追って悪くなり、既に行政がまともに機能しなくなっています。武装勢力以上



マルワリードⅡ用水路調節池ⅠからⅡ池までの主幹水路。通水後でも蛇籠２段目を積む作業や柳の挿し木は出来る。早期の灌漑を必要としているため水路工事は下流域へと進行中(2017年9月26日)

に、犯罪集団の動きも活発ですが、警察や情報局が上からの圧力でまともに動けず、事態を悪くしています。この中で、PMS職員は誰一人不服を述べる者なく、黙々と作業が続けられています。作業の放棄が住民を見殺しにするに等しいことを承知しており、明るい話がない中で、この仕事を自らの励みにしているように思えます。作業地での安全対策が最大の課題の一つで、地域自治会との絆を更に強め、防衛態勢を固めています。

## 現行作業の進捗状況

PMSは現在、大きな作業地を三カ所に抱えています。

### ①カチャラ堰（マルワリードⅡ）流域

昨年パキスタンからの難民大量送還のありで、新作業地のコーティ、タライン、カチャラ、ベラの各村の人口が突然増加（推定約四万人）、早急に帰農を促すべく、予定をくりあげて早期全域灌漑を目指しています。「水さえあれば何とかなる」を合言葉に、一〇月下旬、総力をあげて突貫工事態勢に入りました。万一の工事中断に備



カマ第1堰、第2堰の位置

え、先ずは生き延びられるようにしておくのです。

既に十一月中には、主幹水路四・八kmのうち工事先端は四kmを突破して最終地点に迫り、早ければ年内、遅くとも二〇一八年二月までには全域灌漑が実現する見通しです。また、今回同地に建設された取水堰は完成度が高く、超低水位の異常事態でも豊富な送水ができ、人々に安心感を与えました。最近まで「最悪の危険地帯」との折り紙つきだった当地は、ジャララバード市内よりはるかに安定した地域になっています。主要分水路のカチャラ分水路1、同分水路2、コーティ分水路は既に完成、現在タライン分水路の工事が急ピッチで進められています。

### ②カマ堰改修事業

カマ地域は「緑の大地計画」の中で最大の耕地と人口（約七千診、三〇万人）を抱える重要な場所です。PMSの最近の仕事は「取水堰建設」が最も重視され、既存水路の復活が主な目的です。普通、完成後五年間の観察を経て地域自治会に引き渡されます。五年間のうちには渇水や洪水が起き、工事や計画の弱点が明らかになり、改修を重ねて安定するからです。観察・改修はPMSの責任で地域自治会（行政ではな

い）と協力して行われます。

カマ第二堰はJICA（国際協力機構）

—PMS共同事業として最初に組織的に設計されたPMS方式の取水堰です。二〇一二年に竣工後、五年間のうちに三回の小規模改修が行われて現在に至っています。実は今でも十分に機能してはいますが、今回は譲渡に当たり、最後の改修工事で万全を期し、住民の負担と不安を減らすことが主眼です（おそらく公的機関からの有効な助力はなく、住民自身だけで維持せざるを得ない体質は今後も変わりません）。

もう一つの目的は、同取水堰の地形が、私たちのモデルとしてきた斜め堰（福岡県朝倉市の山田堰）のそれに似ており、「生きた模型」を再現、今後の技術拡大に役立てようというものです。カマ地域は治安が良く、人の往来も多いので目につきやすいということもあります。もちろん、全くのコピーではなく、現地の地理条件、使える技術にずいぶん違いがあるので、現地風に換骨奪胎したものです。これまでのPMSの経験と観察の粹を集め、完成度の高いものを目指しています。

二〇一七年十一月にカマ第二堰に取り掛かりました。工事は、全てペシャワール会の募金に頼り、二年間かけて行われます。

詳細は次号で紹介いたします。

### ③ガンベリ主幹排水路

二〇一六年三月から一年九ヶ月、主幹排水路の全工事を終了しました！ 長さこそ一・七km、決して長いものではありませんが、使用したセメント約一万袋、ふとん籠五千個以上、延べ作業員約三万人、膨大な物量を投入しました。短期の工事としては記録的なものとなっています。

PMSは、これを「マルワリード用水路の実質的な仕上げ」と位置づけ、シェイワ・シギの全村と力を合わせ、全力を投入しました。再々報告しましたが、これによって湿害から免れた地域は約九〇〇畝、ガンベリの開拓地に匹敵します。この排水路の完成によって、沙漠の開拓が他地域に湿害を起さず、安心して進められることになりました。マルワリード用水路と併せた総工費は二十数億円、全て募金でまかなわれています。紙面を借りて、衷心からの感謝と完工の喜びをお伝えいたします。

思えば二〇〇三年の着工から一五年、当時若者であった者も父親となり、古参の熟練工として腕を振るっています。技師として来た者はディダール、ファヒームの両技師を残して皆去り、気鋭の指導層は長老格となりました。中には、他界した者、病氣

や高齢で退いた者も少なからず、時の流れを感じています。

——この間、アフガニスタンの治安は年を追って悪くなりました。マーシャルプランを上回る資金をつぎ込んだ「復興支援プログラム」も、膨大な犠牲者と大混乱——そして錯覚と恐怖心を残したまま、嘘のように去りつつあります。そしてこの事情は、遂に伝わることはありませんでした。

「対テロ戦争」の始まりもアフガニスタンでした。多くの国が是認した暴力的解決の結末も、私たちは眺めてきました。排外主義と狂気、テロの不安で溢れる現在の混乱は、あの時に種がまかれました。

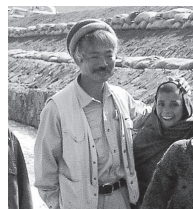
今、多勢を頼み、武力を頼み、こぶしを振り上げて敵意や憎悪を叫ぶ人々たちを見ると、何だか悲しい気分が襲われます。それが一時の満足や姑息な政治的動機から来るものだとしても、そのツケは小さくないであります。まるでゲームのように戦争を語る論調もある現在こそ、平和の尊さを輝せるべきだとの思いを深くします。

寒風の中で震え、飢えている者に必要なのは、弾丸ではありません。温かい食べ物と温かい慰めです。これまでのご協力に感謝し、一層の力を尽くしたいと存じます。

どうぞ飢えに瀕した人々と、悪条件の中

で働くPMS職員・作業員のためにお祈り下さい。

平成二九年十一月 ジャララバードにて



中村 哲なかにま たく：九州大学医学部卒。専門Ⅱ神経内科（現地では内科・外科もこなす）。国内の病院勤務を経て、一九八四年パキ

スタン・カイバル・バクトゥンクワ州（旧北西辺境州）の州都ペシャワールに赴任。ハンセン病コントロール計画を柱にした、貧困層の診療に携る。八六年からはアフガン難民のための事業を設立し、アフガン北東山岳部に三つの診療所を開設。九八年には基地病院PMSをペシャワールに建設。また病院・診療所で患者を待つだけでなく、パキスタン北部山岳地帯の診療所を拠点に巡回診療も開始。二〇〇〇年以降は、アフガンスタンを襲った大干ばつ対策のための水源確保（井戸掘り・カレーズの復旧。作業地千六百カ所以上）事業を実施。さらに〇二年春からアフガン東部山村での長期的復興計画「緑の大地計画」を開始。〇三年三月からは灌漑水利計画に着手し、一〇年三月全長約二五キロが開通。ドラエヌール診療所の年間診療数約四三、六〇〇人（二〇一六年度）。

効果的で素晴らしい  
研修プログラムに感謝

PMS院長補佐/ジャラバード事務所所長

ジアウルラフマン

### 福岡県朝倉市での研修

我々はJICA（国際協力機構）の招聘によって日本の福岡県で研修に参加しました。二〇一七年一〇月二六日にカブールを出発し、一〇月二七日に東京経由で福岡市に到着しました。福岡からはバスで朝倉市に移動し、快適なホテルに宿泊しました。まず最初に、JICAの皆様に感謝申し

上げます。特に宮坂さんと森口さんには、わたくしたちの為にこのような効果的で素晴らしい研修旅行を計画していただき有難く存じます。また、ベシャワール会本部のスタッフの皆様には、空港で出迎えて歓迎してください、たいへん感謝しています。本当に日本人は愛情深く、親切で、愛すべき方々です。アフガニスタンの人々を政治的、宗教的なことがらに関わりなく支援してください。

研修中休みの日があり、山田堰土地改良区の理事長であられる徳永さんの御手配で地域の農業祭にお招き頂き、収穫に感謝し豊穣を願う舞などを拝見しました。そこでは、皆様が歓待してください、お抹茶をいただきました。また、徳永さんはご自宅にもお招きください、ご家族からあたたか

いおもてなしを受けました。徳永さんに心からの感謝を捧げ、末永いご健康をお祈りいたします。

月曜日から水利調査の研修が始まり、わたくしとエンジニアアジュマル、エンジニアファヒーム、エンジニアディダールはCTI（建設技研インターナショナル）や福岡のテクノ社の優秀なエンジニアのご指導でPMSでは初めて取り扱うトータルステーションによる測量の実地訓練を開始しました。彼らは我々の質問すべてに丁寧に誠実に答えてくださいました。また、二〇〇年前に知恵者（古賀百工）の尽力によって築かれた山田堰と合所ダムを見学しました。

## 【技術と魂の記録】



# アフガン・緑の大地計画

—— 伝統に学ぶ灌漑工法と甦る農業

中村 哲

安定灌漑は、偉大な「投資」である

戦乱の続くなか、干ばつと洪水で荒廃に瀕した農地と沙漠。この過酷な自然に、日本の伝統的な工法から学びつつ挑んだ十五年の技術と魂の記録

A5判全カラー2229頁【新刊】本体2300円＋税

\*事務局でも取り扱っています

石風社

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通2-3-24  
ダイレイ第5ビル5階 電話092(714)4838  
www.sekifusha.com FAX092(725)3440



日本の河原で測量実習中のジア医師及びアジュマル農業責任者



今冬開始されたカマ堰の砂州で、日本で研修した横断測量などのおさらいをするエンジニアのディダール、ファヒーム、ワジッド(2017年11月17日)

ータルステーションの実技と、わたくしとエンジニアのアジュマルのための農業研修のふたつのグループに分かれました。農業は、専門家で多くの国で経験豊富な細野先生が指導してくださいました。内容は左記のような重要な事柄です。

- 一. 苗床の準備
- 二. 灌漑と畝の管理
- 三. 推奨される灌漑方法
- 四. 過剰な灌水の典型的な症状

- 五. 土質と作物の成長
  - 六. 栄養不良の症状
  - 七. 作付のローテーション
  - 八. 果物と野菜の乾燥方法
- これらの事柄はとても重要なもので、ガンベリの試験農場でたいへん苦勞している問題点です。

#### 技術と経験と知識を得る

この研修で我々は多くの技術と経験と知識を得ることが出来ました。また、細野先生は多くの国での農業に関するスライドをたくさん見せながら、とても有益で効果的な講義をしてくださいました。我々は多くのことを学びました。細野先生に心から感謝申し上げます、末永くお元気でお願いしますようお願いいたします。また、JAでは万能ネギの出荷までの工程の見学もさせていただきました。また、実地に「水稻用葉色カラーチャート」を用いての稲窒素栄養診断と土質についても教えて下さいました。私たちは、教えていただいた専門的知識を少しずつガンベリの試験農場で実践して、その成果の写真をお送りすることを細野先生にお約束しました。

最後に、JICA、CTI、テクノ社の皆様には、素晴らしく効果的な研修プログラム

ラムを提供していただき、心より感謝申し上げます。また、ペシャワール会PMS支援室のシスター藤田、東さん、浦田さん、萩井さんにも、あたたかい歓待に対して感謝申し上げます。

わたくしは、PMS(Japan)の協力の下、アフガニスタンの貧しい人々のために最善をつくして働くことを、敬愛する中村先生とペシャワール会の皆様にお約束いたします。

#### ▼寄付をしてくださる皆さまへ

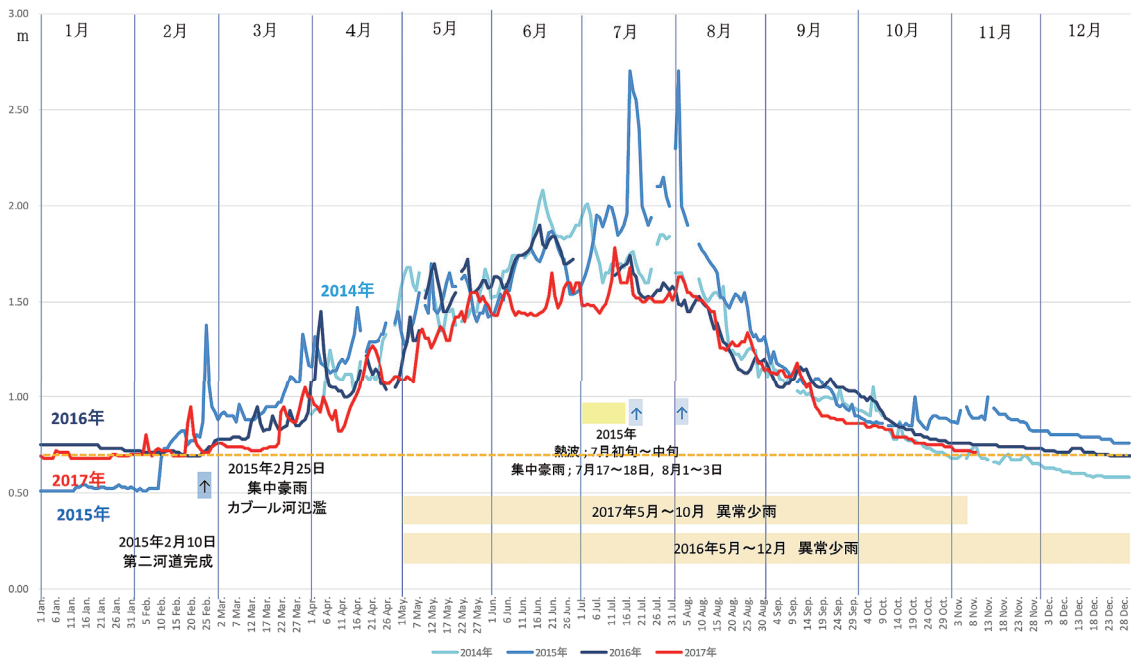
\*当会は法人格を持たない「任意団体」です。お送り下さったご寄付については税金控除の対象となりません。予めご了承頂きますよう、お願い致します。

#### ▼現地活動を紹介するパンフレットをお送ります

\*ペシャワール会の活動をご紹介されることにお使いいただけるものです(払込用紙がついています)。ご希望の方は遠慮なく事務局にお申し越し下さい。パンフレットはA3変形を四折りしたもので、長形の定形封筒に入るカラー版です。なお、パンフレット、会報等は受け取る意思のある方への配布を原則としております(ポスティング等は行わないこととしております)。



カマ第2堰のかかる対岸砂州から取水門を見る。対岸ベスード側からの交通路が敷かれ改修工事がいよいよ始まった  
(2017年11月15日)



マルワリード堰水門部の年間水位変化。四季を通じて水位は低く推移し、特に9月下旬から急速に下降、厳冬期なみの水位となった。しかし、10月から下降傾向が鈍化し、ほぼ例年並で安定しつつある。川の水量は異常に減少を続けているので、低水位対策に重きを置いた取水堰の効果だと見ている。

## 【カラー特集】マルワリードⅡ流域への一斉灌漑を目指して



調節池Ⅲ上流側を望む。マルワリードⅡ用水路の調節池Ⅲの造成と同時進行で送水門やサイフォン、橋、主幹水路の延長が進められている。排水路は一時河側へ導き、サイフォン建設後に元の位置へ戻す(2017年10月19日)



調節池Ⅲの送水門建設。コンクリート構造物が多く忙しい(2017年11月14日)





マルワリードⅡ流域の早期灌漑のため、必死で作業を進める(2017年11月14日)



主幹水路3.6km地点。角を埋めつぶすと送水が出来る。蛇籠の2段目は、送水しながらでも積める(2017年11月14日)



PMSガンベリ農場で刈り取った稲をドラム缶に打ち付けての脱穀作業(2017年10月17日)



ミラーンの訓練所敷地をトラクターで整地していると、村民や避難民の子どもたちが大喜びで着火用に乾燥した草木を集めてくる(2017年10月12日)

## ◎現地スタッフからの便り

PMSがなかったら  
麻薬の栽培をしていたらどう

PMS職員・運転手

アブドルサマード

### 掘削機の操作

アッサラーム アレイコム、私はサイードハキームの息子のアブドルサマードです。ラグマン郡のアリンガル地区に住んでいます。私は二〇〇三年一月一日にPMSの運転手として職につきました。ジャリババ用水路（マルワリード用水路）で当時の監督であったマースーンアガのもとで働き始めました。トラクターの運転とD池への給水の仕事を一年半しました。

仕事に就いて一週間後に、掘削機のEX200の操作をするよう指示され、掘削機にジャックハンマーを取り付け岩山の削岩をしていました。六ヵ月後には、ジャックハンマーをパケットに変え、用水路を掘りはじめました。

工事がマルワリード用水路のF地区とG地区に達した時に、再びジャックハンマーを付けて同地区の山の削岩を始めました。このようにして八ヵ月後にはK池まで作業は進み、続くL1地区では岩山を切り通して用水路を通しました。

M地区、N地区と工事は進みO地区、Q地区では池を造り、その後いよいよガンベリ沙漠を横断するS1地区に到達して工事はとても順調に進みました。

### 子供たちの教育も可能に

私はまた、六ヵ月間現場でコンパクター（締め固め振動機）の運転をしました。ブルドーザーの操縦も行い、フライングコーチとダットサンの運転もしました。それから五年間、チェーンマシオンを使用しました。

この間、PMSはガンベリからチュクレイ村まで排水路を掘りました。

約二年間、私はチュクレイ村で排水路の蛇籠の石詰めもしました。

この後、EX100（掘削機）を与えられてガンベリで働いています。他にカシコート、カシマバード、カマI、カマIIでも

PMSは重要な仕事をしましたが、私もそれらの現場で働きました。カマとベスードでは川岸に巨礫を設置し護岸工事をしました。ガンベリの排水路工事開始の数ヵ月後には、砂利製造機への石の供給と道路の砂利敷設を行いました。

日本人スタッフの皆様、特に我々の総監督であるドクター中村、伊藤さん、石橋さん、長島さん、本田さんらはとても親切で、常に良いお手本となるような方たちでし



掘削機を操縦中のサマード運転手(2017年11月22日)

た。もしPMSが存在しなかったら、我々は麻薬を栽培していたことでしょう。

私はPMSから十分な給料をいただき、そのお金で子ども達に教育を与え、家族を養い、そのほかの問題も解決できていることをとても幸せに思っています。我々を支

### 考えたこともなかった 効果的な学習でした

PMS職員・農業事業責任者  
アジュマルスタニクザイ

#### 質問や疑問にも丁寧に

私はPMSの農業事業を担当しているアジュマルスタニクザイと申します。

この度、研修のためJICAの招聘により一〇月二六日から日本へ参りました。

研修の機会を与えて下さったJICAの皆様、また日本での私共PMS一行への厚い受け入れ態勢に深く感謝申し上げます。

日本の方々は信頼でき、お互いを大切にし辛抱強く尊敬すべき人々で、アフガニスタンの人々をとても愛情深く支援して下さいっており、私はたいへん幸せに感じていま

援して工事の設備を提供するために寄付してくださる日本人の皆様にも心より感謝申し上げます。

私はPMSとそのスタッフにとっても満足しており、彼らに心よりの感謝を捧げたいと思います。有難うございました。

す。

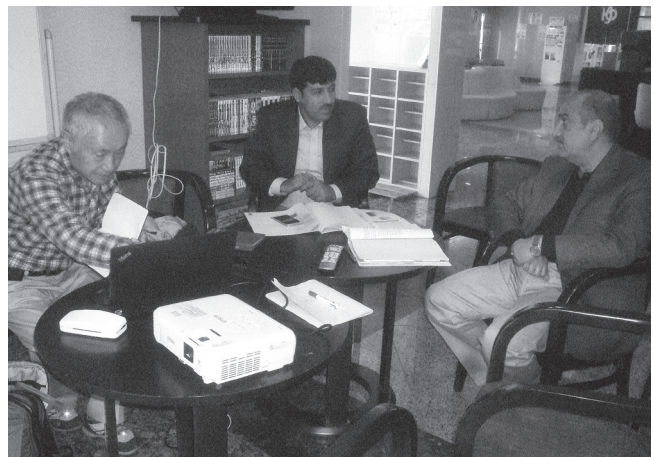
福岡に到着して翌日の日曜日は、合所ダムの見学に行きました。巨大な構造物で機能的に構築されているように見えました。

翌日から、山田堰でCTI（建設技研インターナショナル）やテクノ社のエンジニアの方々からトータルステーションを使って測量の研修を受けました。

教えて下さるエンジニアの方々皆さんたいへん優秀で、私たちからの質問や疑問全てに対して、丁寧に親身になって何度もも答えて下さり、お蔭様で私達は多くの事を学ぶことが出来ました。

#### PMSの農場で実践

三日目、私は水利調査の研修を離れ、農業の研修に入りました。輪作の方法や灌水の仕方、野菜や果物の乾燥や保存の方法、野菜の区分やその栽培過程等たくさんこのことを学習しました。



細野氏(左)に農業指導を受けるジア医師(右)とアジュマルPMS農業責任者(2017年11月2日)

また、米やトウモロコシの成長不良を防止するにはどうするか等の講義を受けた後、畑に行き、「水稻用葉色カラーチャート」を使って稲の葉を観察し、窒素分が足りているか否かを調べました。

私はCTIの細野氏とシスター藤田と一緒に朝倉の農協に行きました。そこでは農家が収穫した農産物(万能ねぎ)を農協に預けた後から出荷するまでの過程を見学しながら説明を受けました。その後、同じく農家が収穫した米を農協に預けた後の処理

工程を懇切丁寧な説明を頂きながら見学をしました。ここでも私の質問に対して丁寧に答えて下さいました。

この度は、農業について今まで私が考えた事さえなかった、役に立つ効果的な事をたくさん学習し、素晴らしい研修となりました。神の御心がありましたら、担当しているPMSのガンベリ農場で今回学んだ重要な事柄を実践し、更に周辺の農家の人達へも広めて行きたいと考えています。

最後にこの有益な研修をアレンジして下さったJICAの方をはじめ、CTI、テクノ社、ペシャワール会の皆様から心からの感謝を申し上げます。繰り返しになりますが、研修に対する取り組みや私達に対する思いやりのある対応に深く、深く御礼申し上げます。

## 医者、用水路を拓く

アフガンの大地から世界の虚構に挑む

中村哲 【6刷】1800円

辺境で診る辺境から見る 【5刷】1800円

医者 井戸を掘る 【12刷】1800円

医は国境を越えて 【7刷】2000円

ダラエ・ヌールへの道 【5刷】2000円

ペシャワールにて 【8刷】1800円

アフガン農業支援奮闘記

高橋修・編著 2500円

聖愚者の物語

甲斐大策 1800円

石風社

福岡市中央区渡辺通2-3-24

電話092(714)4838

人は愛するに足り、真心は

信ずるに足る アフガンとの約束

中村哲/澤地久枝(聞き手) 2000円

岩波書店 東京都千代田区一ツ橋2-5-5

電話03(5210)4000

天、共に在り アフガニスタン

三十年の闘い

中村哲 1600円

NHK出版 東京都渋谷区宇田川町41-1

電話03(3464)7311

価格はすべて本体価格(税別)です

アフガニスタン DVD

用水路が運ぶ

恵みと平和

朗読 吉永小百合

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

3000円(税+送料込)

## ワーカー通信

日々の仕事をこなしつつ  
初心を忘れぬように

ペシャワール会事務局・PMS Japan(支援室)

靱井孝文

### 中学からの夢に挑戦

まず僕がペシャワール会に入った動機について書きたいと思います。

中学・高校の時、漠然と海外と関わりがある仕事をしてみたいと考えていました。しかし、その時は自分自身のこれからのつ



測量のトレーニングを受ける靱井ワーカー(右)(2017年10月31日)

いてあまり深く考えることが出来ずに、大学を卒業して一般企業に就職しました。そこで働きながら自分の将来の事を考えて、一度は自分がしたいと思っていたことに挑戦してみたいと思うようになりました。

その矢先、以前にペシャワール会で働いていた方と偶然にも知り合うことが出来て、ペシャワール会のことを知り、その方からお話を聞くことが出来ました。働いて



カチャラ分水路Ⅱの開通日。中村医師と写真手前からパチャサーブ、エンジニアのディダールとファヒーム(2017年9月29日)

いた職場もやりがいがあり、充実していたので、辞めるかどうか悩みましたが、これもなにかの縁だと思ひ、思い切って会社を辞め、自分がやりたいと思っていたことに挑戦しようと思ひ、ベシャワール会で働くことを決断しました。

### 英文技術書の作成

PMS支援室で携わった一番大きな仕事は現地で使用する技術書の校正です。

現在、PMS方式をこれから次世代に残していく為に、国連食糧農業機関（FAO）との合同事業で訓練所が建設されています。英語版の技術書は、そこで教材として使われるテキストとなります。沢田さんに、日本語版の技術書を英訳して頂いた文を、PMS支援室のメンバーとアドバイザーの西岡さんと一文一文丁寧に読み合わせをして、適切な表現になっているのかわらし合わせる作業と、よりわかりやすい技術書にする為に写真や図の配置を考え直す作業です。

これらと別に、技術書の索引を作成するという大きな仕事を、PMS支援室に入っただばかりにも拘らず、任せてもらいました。働き始めたばかりで、まだ現地で使われているPMS方式のことも理解出来ていなかったのと、ともに英文を読むことが出来なかったもので、英文の中から重要な語句を拾う作業は、僕にとってはたいへん難しい作業でした。英文と日本語を照らし合わせながら、何度も何度も読み返し、重要な語句の漏れがないかを確認していききました。この作業を繰り返し行ったことで、自然にPMS方式を理解できるようになり、英語の語句を覚えることも出来たので、たいへん良い勉強になりました。

英語版の技術書は、長い時間をかけて、みんなが校正のことについて何度も議論を重ねたので、完成した技術書を手に取った時は本当に感動しました。

### PMSスタッフとの初めての交流

一〇月二八日から十一月七日にかけて、現地で行われる農業・農村復興基礎情報収集・確認調査の為、朝倉でCTI（建設技研インターナショナル）、現地PMS職員、PMS Japanとの合同研修会が行われました。

まず現地確認調査をする目的は、今後の為に、今まで現地で行われたPMS方式の水利学的評価と、今まで作った堰によって灌漑地にどのような社会的影響をもたらしたかを把握するためです。

今回の研修は、現地で行われる現地確認調査の為に必要な測量と河川材料の調査の技術を学ぶ為の合同研修会です。

僕はこの合同研修会を通じて、初めてアフガニスタンの方々と交流することが出来ました。

電話では彼らと交流する機会がありましたが、実際に会って交流をしたことが無く、現地の言葉も全く話すことが出来なかったもので、とても緊張しました。しかし、彼ら

## 2018年カレンダー

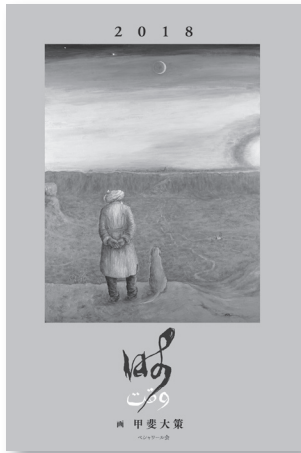
「時」

画・甲斐大策

同封のハガキでご注文ください

A2判変形(画・7点)

定価 1500円(税・送料込)



今年も恒例のカレンダーを制作しました。部数に限りがありますのでお早めにご注文下さい(ご友人・知人へのプレゼント発送も承ります)。

※代金は後払い。払込用紙を同封します

を空港に迎えに行った時に、とてもあたたかく接してもらい、安心しました。合同研修会の期間中は、なかなか彼らと会話を続けることが出来ませんでした、とても貴重な体験になりました。

ペシャワール会の専従スタッフになることが出来て、最初は自分が人の役に立てればと思いい、強い気持ちを持って働いていましたが、日々の仕事の中でどうしても作業をこなすことだけになってしまう時があるので、今回の合同研修会を通じて初心に戻ることが出来ました。

まだまだ未熟者ですが、この仕事を通じていろんなことを学び、自分の信念を持ち、少しでもまともな人間になりたいと思います。

▼未使用の切手、書き損じハガキ(官製ハガキ・年賀ハガキ)をお送り下さい

\*引き出しの中などに眠っているものをお送りいただければ幸いです。会報発送等に使用していただき大変助かっております。なお、外国の切手は取り扱っておりません。

サファル・バハール!(良い旅を)

甲斐大策

31

冬到来

十月半ば、朝夕のカーブを往来する人々の息は白く、遠い峰々に雪が光る。カーブの秋は、カーブの初冬である。

この日、新市街で一世紀連続く絨緞屋ハネ・カイウスは朝から騒がしかった。大小の品々を、車に轆かせる品、人の往来に踏まれる品、水洗い依頼の分、棒で叩く分、とカイウス・ババの指示が響く。歩道に絨緞を曳き出していた使用者の一人が車道へ赤い唾を吐いた。その男は、バアンを囁んでいた。

「血だらけの自爆現場にするのか、ここを……、馬鹿者! トフ・フニニイ(血振きの唾)に鼓膜が痛む。吐しいリキシヨ、御隣さんは碌なもの持ち込まないよ……」折しもリキシヨが走り抜け、ババの怒号とエンジン音が重なり、そこに男達の叫びと笑い声が湧き上った。男達は跳び撥ね、通行人が立ち止る。開いた平積みみの絨緞から、冬籠りを決めていたらしい10cm程の蝸が二匹、薄い姿でこぼれ出たのだった。男達が踏み潰す。小さな事件は忽ち終り、ババも笑顔になる。雀が数羽、男達の足元をぬって哀れな蝸の破片を啄む。

午後の太陽が獅子門の峰へ傾く。カーブの土手で埃の叩き出しの分を受けもつていた長男が、携帯電話を手にする。

「ババ、直き終る。アガの果物屋、カオクが三羽、ああ……予約した、勿論、持って帰ります。ヘラトの祈り用があと一枚、……そうです、では……」

果樹園で捕えた野禽類に、屠りの手順を与え、果物屋の店頭の下がる美味の話だった。

絨緞の埃は対岸の旧市街へ流れる。

金色に染めた羅のような雲が中天を横切り、カーブはもう冬である。

- (1) 菊醬の葉に檳榔子や石灰、香辛料を包んだ印々世界五十年来の嗜好品。唾液が赤くなる。
- (2) 「力車」の詠り。三輪バイク改造の小タクシー。
- (3) 鶏のやや小型、姿も味も、アフガンが愛する山鳥。鷓鴣の近縁種。

## ●事務局長便り

\*四月に引き続き、十月二日から十一月七日にかけて、ジァ医師をはじめとするPMSのスタッフ四人が来日、福岡県朝倉市で測量技術と農業に関する研修会がおこなわれました。目的は、二〇一〇年から開始したJICA(国際協力機構)とPMSとの共同事業の成果調査を行うための技術研修が基本です。調査の目的はPMS方式の水理学的評価とその灌漑施設によって灌漑地農村にもたらされた社会的成果の評価等です。評価はJICAに委託された日本の調査会社が行いますが、その基礎調査に現地PMSが協力することになり、そのための研修です。研修内容は非常に充実したものとなりました。ご協力頂いた、関係者の方々に深く感謝致します。

\*中村医師の報告にありますように、現地は氣候・治安共にきわめて危機的な状況のなかで、各事業が進められております。その中で、二〇〇三年から開始された灌漑事業のメインであるマルワリード用水路が、ガンベリの主幹排水路の工事終了によって実質完成にこぎ着けました。現地関係者そして日本の会員・支援者の皆さんと共に喜びを分かち合いたいと存じます。

\*中村医師によると、ようやく大地を潤すほどの雨が降り始めたとのこと。「河川水の異常減少は先に報告した通りです。しかし広範に降る断続的な降雨で、クナール河流域は限なく湿り、河川水は急に増えました。水位は現在、例年のレベルになっています。そのせいか、ジャララバードは突然静かになり、事件も減り、

安堵の感が広がっています。」(中村哲)。

## ●PMS支援室より

二〇一八年が、平穏な年でありませうように。前号に記しましたように、現地PMSからジァ医師一行が来日し、河の横断測量や河床材料調査の特訓を受けました。今回はPMS農業担当者も招聘して頂き、海外での豊富な経験をお持ちの細野さんより農村・社会調査の事前調査結果をもとに、土質の判定や土質に沿った灌漑法、輪作他、多くの事柄のご指導を頂きました。ジァ先生、アジユマルジャンは理解するまで何度も質問し、ガンベリ農場で早速やってみようとしきりに話しておりました。現地から毎月支援室に届く農作業日報で今後の変化を楽しみに追って行きたいと思えます。

## ◎村から

図書館で何気なく借りた一冊の本「アフガニスタンの診療所から」との出会いがペシャワール会を知る始まりでした。ボランティアを始めた頃は会費や寄付をお寄せ下さった方へのお礼状書きをしていましたが、二〇〇一年九月のニューヨーク同時多発テロが起きアフガニスタンに食糧制裁が行われ、アフガニスタンの注目されるのと会の活動が一変しました。現在は、現地の荒廃した土地の緑化へと水を求めて護岸や水路工事を指揮されている中村先生の活動をDVD上映会やスライドを通して、たくさんの方々には知らせる紹介をしています。同じ目的を持った仲間にも恵まれたことが、私のボランティアを続ける原動力になっています。(TM)

## 会 則

- ①本会の名称をペシャワール会とする。
- ②本会は、中村哲医師のパキスタン北西辺境州ならびにアフガニスタンでの医療活動などを支援し、必要な情宣・募金活動とともにワーカーの派遣を行うことを目的とする。
- ③本会は、思想・信条にとらわれず、「支え合い」の精神で一致して会を運営する。
- ④会員は年額三、〇〇〇円、学生会員一、〇〇〇円、維持会員一〇、〇〇〇円の年会費を納入する。
- ⑤会員はそれぞれ可能な範囲で、自ら創意工夫して自由なやり方で支援活動を行う。
- ⑥本会は会報を発行し、会報を通じて活動を報告する。
- ⑦本会は若干名の理事、監事を選任し、会の運営を行う。
- ⑧毎年一回総会を開き、事業および会計について報告する。
- ⑨本会の事務局をFARAHOUSE(千八〇一〇〇二三 福岡市中央区警固二一―一七 ハイツみかげ八〇三号 九二―七三―二三七二)内におく。

二〇一八年の総会、現地報告会は、六月一六日(土)に開催いたします。